

学習指導要領		都立科学技術高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でのコミュニケーションにおいて、聞いたことに対して、繰り返し説明を求めたり、言い換えて確認したりするなどして、相手の話に関心を持って聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、つながりを示す語句に注意したり、具体例を参考にしながら、内容を推測したりするなどして聞き続けることができる。 ・教員による英語での指示や発問を聞き取ることができる。 ・テキストの英文を聞き、T/F などの簡単な設問に答えたり、英語の質問に答えたりすることができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、自分の考えを考慮しながら質問や指示などに適切に応じることができる。 ・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握し、内容の展開を理解することができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて英和辞典を活用しながら、300～600 語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の意見や考えを正確に捉え、書かれている内容について自分の考えを持つことができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語があっても、文脈や、文法及び構文についての知識を用いて推測したり、背景となる知識を活用したりして読み続けることができる。 ・教科書の文章などの単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、議論の中心となる「論点」やそれにかかわる「根拠」を明確

学習指導要領		都立科学技術高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<p>にすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の構成、段落間の関連などを考えて読み進めることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・300～600語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら英語で答えることができる。 ・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、ワークシートやメモなどを活用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。 ・教科書の要約をキーワードや写真・絵を基に自分で組み立て、相手に伝えることができる。 ・ペアやグループで、多様な捉え方ができる話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見を交換したりして、結論を導くことができる。 ・単語の発音に気をつけながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で話すことができる。 ・ペアやグループでの話し合いや発表で必要となる語句や表現、文法事項を身に着けている。 ・他の生徒が話した内容や話し方について、良かった点や改善点を伝えることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解することができる。 ・面接形式の口頭試験において、教科書の内容や情報などを理解し、それらをまとめて、話すことができる。

学習指導要領		都立科学技術高校 学カスタンダード
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について、書く目的を明確に設定して、40～60 語程度の文章を書くことができる。 ・教科書の文章について、パートごとに、40 語程度の要約文を書くことができる。 ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに 40～60 語程度の文章で書くことができる。 ・トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある文章を書くことができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら、読み手を意識した文章を書くことができる。 ・必要に応じて、英和辞書や和英辞書などを積極的に活用して書く。 ・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読みあい、語句や文法の誤りを正したり、読み手に効果的に伝わるように助言したりすることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。